

名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科 術後の会 会報

ハート通信

2007年
No. 15



第15号の紙面

- ご挨拶(総長 大橋壯樹より)..... 1
- ドクター近況報告..... 2・3
- お便り紹介..... 4

編集・発行 年2回 発行

名古屋徳洲会総合病院 地域医療部
〒487-0013 春日井市高蔵寺町2丁目28番地の1
Tel:0568-51-8711
URL:http://www.nagoya.tokushukai.or.jp

心臓と上手く付き合う



大橋 壯樹

皆さまへ

残暑が続きますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。まだまだ心臓の調子に不安があり、自信の無い方から、何の心配も無い方まで様々だと思います。それでも知らず知らず命の源である心臓と付き合っていることと思います。

さて、心臓とどのように付き合えばいいのか。今回お話ししたいことは、心臓の受け手である心臓以外の全身の臓器が逆に重要であるということです。

心臓は全身に血液を供給する臓器ですが、それを循環させ利用し、さらに心臓に返す役目をしているのが全身の臓器、筋肉であります。全身への血液の循環は心臓だけの責任でなく、それを受け入れる全身の状態によっても変わってきます。

患者さまのなかには、心機能が極端に弱っていてもケロツとしている方も多くいます。多くの患者さまを診させていただきますと、心臓とうまく付き合っているなあと感心することがよくあります。悪い心臓ながらも心臓の受け手である全身の臓器がうまく機能しているのです。すなわち低燃費の体といえます。逆に心臓に負担のかかる体(全身)とは、高血圧、肥満、糖尿病、ストレスの多い体、暴飲暴食、急激な激しい運動等々です。

しかし、心臓も休ませてばかりでは弱っていくばかりです。心臓に多少の負荷をかけて、余力をつけておかなければなりません。多少の刺激、ストレスを与えることが大事になります。ですから、調子のいいときは仕事、社会に積極的に参加し、心地よい疲労を感じる運動も重要になってきます。

時には休ませ、時には鍛えることが大切です。



過度な負担を与えない

- ・適度な安静
- ・体重増加に気をつける
- ・禁煙、過度のアルコール摂取を避ける
- ・怒らない
- ・高温長時間の風呂をさける
- ・急に体を動かさない

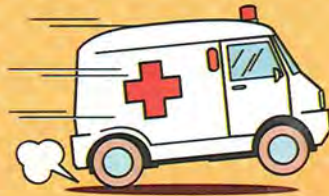
心臓も少しは鍛える

- ・息切れしない程度の適度な軽い運動
- ・適度な温泉
- ・旅行、社会参加



今年は屋神温泉で術後の会を予定しております。一度皆さまで大事な心臓について考える機会にしていただければと思います。

また、本年も御指導ご鞭撻の程なにとぞよろしくお願い申し上げます。そして皆さまのご健康とご多幸をお祈りいたします。



ドクター

松原徳洲会病院 心臓血管外科 部長 吉田 毅

松原市は大阪市の南、天王寺から電車で15分ほどのところにあります。2年半前名古屋徳洲会総合病院からこちらに赴任し、心臓血管外科を担当しています。松原市には当院しか心臓血管外科がなく、また近隣の病院も心臓の緊急対応は困難な病院が多い為、循環器科とともに、24時間365日治療に励んでおります。

名古屋徳洲会総合病院のように地域に信用される病院を目指して精進してまいりたいと思います。



吉田Dr

平井Dr

松原徳洲会病院 心臓血管外科 平井 康隆

こんにちは。近日、日差しも強くなり夏ばてに注意が必要な季節になりました。僕は松原徳洲会病院で日々、患者様が健康でお過ごしいただけるように、手術に術後管理に尽力しております。手術で健康になられ、社会生活を元気に送ってられる患者様から、「ありがとうございます、こんなに元気にしてもらって。」というお言葉をいただけるだけで、僕もpositiveな気持ちになり、逆に患者様から元気をいただいているような気持ちで、僕こそ「ありがとうございます。」という心境です。しかし、ご不幸にも病気により他界された方もおられ、悲しみに打ちひしがれると共に、「次の患者様は必ず助けるぞ。」と心に強く思います。このように常に前向きに考え、つい熱心に患者様のことを考えるあまり、「医者の不養生」になることもしばしばあります。皆様もお体には十分気をつけてください。皆様の健康をお祈りいたしております。

東京大学医学部附属病院 心臓外科 大野 貴之

2001年12月から2004年3月の間、名古屋徳洲会総合病院に勤務させていただいた大野貴之です。

大橋先生、朝倉先生、病院スタッフのみなさんには大変お世話になりました。名古屋徳洲会総合病院を退職後、大学院生として研究に従事しております。名古屋で最も興味を持った冠動脈バイパス手術を研究テーマにしています。最近手術を受けず狭心症・心筋梗塞をカテーテル治療で治すことがはやりになっています。しかし冠動脈バイパス手術のすぐれた点をわかりやすく患者さんに説明し、カテーテル治療ではなく冠動脈バイパス手術を受けることを選択してもらうことが私の心臓外科医としての使命だと考えています。名古屋徳洲会総合病院の益々のご発展を期待しています。



名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科 田澤 希久子

心臓血管外科7年目の田澤希久子と申します。

名古屋徳洲会総合病院では2006年6月より勤務させていただいており、主に手術から病棟での術前術後管理を行っています。

微力ではございますが、精一杯努力しまして、患者様の診療に取り組んでまいりたいと日々思っております。

今後よろしく願います。



近況報告



野崎徳洲会病院 心臓血管外科 部長 岡 藤博

みなさまお元気ですか。平成17年から18年の2年間勤務させていただきました岡 藤博です。

本年1月より大阪の大東市にあります野崎徳洲会病院に転勤となりました。心臓血管外科の立ち上げという大役を仰せ付かりまして、半年で30人の方の心臓手術をさせていただきました。今のところトラブルなく、順調にしております。これも名古屋でのかけがいのない経験があったることと感謝しております。在職中は自らの力不足でご迷惑をおかけいたしましたこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。また術後の会で皆様とお会いできるのを楽しみにしております。



野崎徳洲会病院 心臓血管外科 大吉 希

現在、大阪にあります野崎徳洲会心臓血管外科にて勤務しております大吉 希です。

2年間の初期研修医を終えて、大橋先生のもとで心臓血管外科を学ぶために、2006年の5月から2007年の4月まで丁度1年間、名古屋徳洲会総合病院で勉強をさせていただきました。毎日手術におられる忙しい日々でしたが、どうか1年間頑張れたと思っています。野崎徳洲会病院に今年の5月から異動になり、岡部長と2人ですが、医師として必要な技術・心構えをマンツーマンの指導のもと勉強させていただいています。患者様から信頼を得る医師を目指し、日々の努力を今後も続けたいと思っています。今後よろしくお願いいたします。



名古屋徳洲会総合病院のニューフェイス

名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科 坂倉 玲欧

初めまして。私は名古屋徳洲会総合病院にて2年間の初期研修期間を経て、本年度より当院心臓血管外科に勤務しております。大橋先生の患者様に対する思い、技術レベルの高さ、心臓血管外科チームに対する熱い思いに魅せられ、名古屋徳洲会総合病院心臓血管外科の門戸をたくことを決意いたしました。大橋先生の指導のもと、日々貴重な経験をつまさせていただいております。今後も心臓血管に御病気をお持ちの患者様の力に少しでもなれますよう精進していく所存でございます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科 景山 聡一郎

皆さま、初めまして。2007年4月より名古屋徳洲会総合病院 心臓血管外科に勤務させていただいています景山聡一郎と申します。

今後も外来や医療講座など通しまして、地域のみなさまに身近に感じていただける医師を目指して頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。



お便り 紹介

みなさんから届いたお便りを
ご紹介いたします。



心臓の病気とわかった時はびっくりしました。

薬ではだめ、手術しかないといわれ僕は心の中がパニックになりました。K病院から紹介をされ徳洲会病院の方へ行き、大橋先生にお逢いしました。この若い先生が手術するのかなと思ったが、いろいろお話をしていると大橋先生のすばらしい事がわかり、すべてをこの先生にお任せすることにして手術の日を決めてきました。

手術までの待ち日数が2週間ありその間、精神状態が大変でしたが入院して手術をし、「悪い所は直したのであとはSさんががんばってください。」と言われました。先生はじめ看護師さん達が親切にして下さるのでうれしかった。退院して日数も過ぎ、食事も運転も出来るようになり、先生方のお陰で元気になりました。ありがとうございました。

✉ M. Sさま

心臓バイパス手術から1ヶ月经過しました。先生・看護師の皆様の思いやりの心と励ましに支えられ15日間の入院生活もあっという間に過ぎてしまいました。貴病院で手術を受けて良かったと思っています。

最初の病院でカテーテルを入れている時、「重症だ」と言う声が聞こえ貴病院を紹介されました。手術前先生から丁寧に手術の様子等の説明を受け、安心して手術室に入りました。それでも妻は心配して親戚中に電話し、受けた方は危ないと思ったようでした。

手術室に入ってから『経本』『天国』の様子を思い浮かべ、麻酔によって意識がなくなるとはどんな状態か等と考えていました。

3時間半後、先生が「気がつきましたか」と言われ指を握ってくれました。声を発する事は出来ず、指をぎゅっと握り返しました。「あっ、生還したんだなあ」とうれしさでいっぱいでした。痛みも少しづつ薄らぎ、普段の生活に戻りつつあります。

本当にありがとうございました。

✉ G. Mさま

入院中は何かとお世話になり有難く厚くお礼申し上げます。思いがけず救急車でE病院から春日井の病院へ…。

半分覚えのない状態で午後手術。体力の落ちない時期の手術で見舞客も元気に驚いて帰りました。一時は何もする気力も無くなりましたが、今は少々気分は上向きとなり、『手術後の過ごし方』を参考に自分の事はなるべく自分でする様につとめ、助けて頂いた命を大切に守って行きます。

本日E病院へ、元気になった姿を見て貰って来ました。大橋先生を始め諸先生方、看護師さん、病棟の皆様方の笑顔にお優しい言葉使いに励まされて立ち直れます。

今後共よろしく御指導下さいませよろしくお願い致します。

✉ T. Sさま